

ウラジオストク滞在に関する報告について（6月分）

1. ロシア語学校について

6月に入り、授業日程を終了し帰国する生徒が多く見受けられます。それに伴い、生徒数が減ったクラスの統合や、他のクラスへの振り分けが行われました。私の在籍していたクラスも改編され、今は文法・会話・読み取り・聞き取りの授業を受けています。

ロシアでは6月末で学期が終了となり、9月から新学期となります。そのため夏休みに入った生徒の多くは地元へ帰郷し、大学内はいささか人が少なくなったように感じられます。また教師もこの時期に夏季休暇をとることが多いようです。極東連邦大学の先生方は2週間以上まとめて休みをとることが多く、その間は臨時の教師が代わりに授業を行っています。

2. ウラジオストク市内の状況について

・治安状況

6月2日のウラジオストク市警察の発表によれば、ウラジオストク市内にて日本人観光客がかばんから財布を盗まれるという事件が発生しました。気候が暖かくなり、通りを歩く人も多くなってきているため、貴重品の管理には十分注意が必要です。

また、電子査証によりロシアに訪問する日本人が増加していますが、電子査証取得の際に、氏名の入力ミスと思われる原因により、ロシア当局から入国を拒否されるケースが何件か発生しています（特に、電子査証の名字と名前が逆になっているため拒否されるケースが多いようです）。他にも、ロシア出国の際に電子査証の有効期間が過ぎてしまっており、出国できないというトラブルがありました。電子査証を利用してロシアを訪れる予定の方は十分ご注意ください。

・気 候

6月になって徐々に暖かくなってきましたが、まだまだ夏とは言えないような肌寒い日が続いていました。6月の下旬は気温が25度以上の日が何日かありましたが、その後は20度を下回る日が続いています。現地のロシア人もこんなに夏らしくない6月は珍しいと言っており、夏を待ち遠しく思っているようです。

この時期は日本と同じでウラジオストクでも梅雨の時期にあたり、雨が降る日が多いですが、傘をささなければならぬような強い雨は滅多に降らず、小雨程度でフードをかぶったりするだけで十分です。朝は基本的に霧が出ており、日によっては一日中視界が悪い日もありました。霧が濃い日には10m先も見えない時もあり、車には十分に気を付けなければなりません。

3. ウラジオストク内の日本関係の行事について

・FIFA ワールドカップ ロシア大会

6月14日より2018年ワールドカップがロシアで開催されています。サッカーはロシアでも人気スポーツの一つであり、ウラジオストクでも盛り上がりを見せています。ロシアチームの試合の日には街の通りで「ロ・シ・ア！」という大きな掛け声をあげているファンが多くいます。また極東連邦大学にはさまざまな国籍の生徒が在籍しており、皆さん自国チームの応援をして一喜一憂したり、日本チームが勝った時には「おめでとう！」と言ってくれたりします。ただ、ロシア開催といっても実際に試合が行われているのはモスクワやサンクトペテルブルクなどのヨーロッパ側の都市のため、ウラジオストクで試合中継が見られるのは日本とほぼ変わらず深夜から朝方になってしまいます。そのため、試合があった次の日の授業を欠席する生徒も少なくなく、先生も「彼の国のチームは昨日負けちゃったから、今日は欠席ですね」と苦笑いしています。

・第7回着物ショーについて

6月17日（日）、ウラジオストク市内において、着物ショーがありました。このショーは在留邦人がモデルとなって出演するもので、私も着物を着て参加させていただきました。ただ歩いて着物を見せるだけのショーではなく、それぞれの出番が小さな劇仕立てになっており、在留邦人のモデルで役を分担し、皆さんが演じる形になっています（今年のテーマは「源氏物語」でした）。

多くの現地ロシア人の方にも見ていただくことができ、またロシアのテレビ局が取材に来てテレビのニュースで紹介されるなど、日本の文化を知ってもらう大変良い機会だと思いました。



(写真1：着物ショー様子①)



(写真2：着物ショー様子②)

・加藤登紀子ウラジオストクコンサートについて

6月24日、「ロシアにおける日本年」の記念事業として、加藤登紀子さんのコンサートがウラジオストク市内のコンサートホールにて行われました。ロシアの曲を日本語に訳したものや、加藤さんのヒットソングである「時には昔の話

を」や「愛の讃歌」、「百万本のバラ」、さらにはロシアの有名な民謡である「カチューシャ」等を歌われました。日本語の歌をロシアの方が理解できるのだろうかと思っておりましたが、加藤さんの圧倒的な歌唱力と迫力にロシアの方も大変感動していました。コンサート終了時には大きな拍手が鳴り止まず、大変盛り上がっていました。

25日には極東連邦大学で加藤さんの講義があり、通訳を介して加藤さんの生い立ちや、歌に込めた思いを話され、少しだけ歌も歌われました。



(写真3：コンサートホール内・ステージ)



(写真4 : コンサートの様子)



(写真5 : アンコール時の様子)